

平成27年3月期

決算説明資料

株式会社 沖繩銀行

## 【目次】

頁

## I. 平成27年3月期 決算ダイジェスト

1. 損益の状況	単	1
2. 主要資産・負債の状況	単	2
3. 経費	単	5
4. 資産健全化の状況	単	6
5. 自己資本比率（国内基準）の状況	単・連	8
6. 業績予想	単・連	9

## II. 平成27年3月期 決算の概況

1. 損益状況	単・連	10
2. 業務純益	単	12
3. 利鞘	単	12
4. 有価証券関係損益	単	13
5. 自己資本比率	単・連	13
6. ROE	単	14

## III. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	単・連	15
2. 貸倒引当金の状況	単・連	16
3. リスク管理債権に対する保全状況	単・連	16
4. 金融再生法開示債権	単・連	17
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単・連	17
6. 引当率・保全率の状況	単・連	18
7. 自己査定結果及び債権分類額(率)の状況	単	19
8. 自己査定結果と開示債権との関係	単	20
9. 業種別貸出状況等	単	21
(1) 業種別貸出金	単	21
(2) 業種別リスク管理債権	単	21
(3) 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高等	単	22
(4) 生活密着型ローン残高	単	23
(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単	23
10. 信用保証協会保証付融資	単	23
11. 系列ノンバンク向け融資残高	単	23
12. 預金、貸出金の残高	単	23
13. 個人・法人預金の種類別内訳(平残)	単	24

## IV. 業績予想等

1. 平成28年3月期通期の業績予想	単	24
2. 人員と店舗の状況	単	24
3. 保有株式について	単	25
4. 不良債権について	単	25
(1) 処理損失	単	25
(2) 残高	単	25
(3) 最終処理と新規発生	単	26
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単	26
(5) 不良債権比率	単・連	26

## I. 平成27年3月期 決算ダイジェスト

## 1. 損益の状況(単体)

## ○ 概況(前年度比較)

経常収益は、有価証券利息配当金は増加したものの、貸出金利息や株式等売却益の減少などにより、前年比7億16百万円減少の364億42百万円となりました。

コア業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、資金利益の増加や経費の減少などにより、前年比4億67百万円増加の106億53百万円となりました。

経常利益は、有価証券関係損益が減少したものの、コア業務純益の増加や与信費用の減少などにより、前年比13億80百万円増加の99億42百万円となりました。また、当期純利益は、前年比21億96百万円増加の67億93百万円となりました。

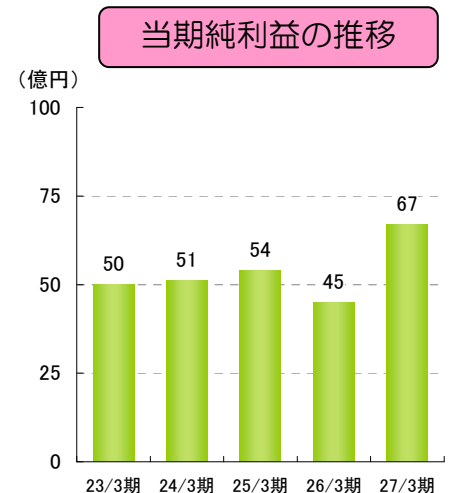
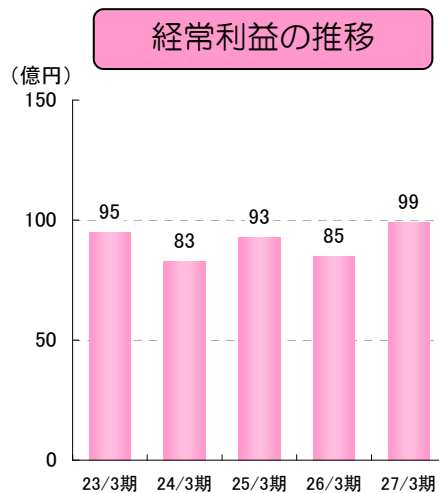
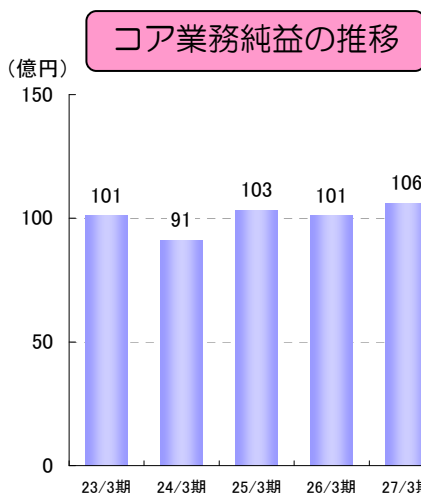
(単位：百万円)

科 目	No.	26/3期	27/3期	
				増減
経常収益	1	37,159	36,442	△ 716
業務粗利益	2	30,068	30,559	491
資金利益	3	27,357	27,803	446
役務取引等利益	4	2,586	2,379	△ 206
うち信託勘定不良債権処理額	5	-	43	43
その他業務利益	6	124	376	251
うち国債等債券関係損益	7	△ 58	242	300
経費(除く臨時処理分)	8	19,940	19,707	△ 233
うち人件費	9	9,642	9,634	△ 7
うち物件費	10	9,324	8,995	△ 328
<b>コア業務純益(A)</b>	<b>11</b>	<b>10,186</b>	<b>10,653</b>	<b>467</b>
一般貸倒引当金繰入額	12	640	△ 372	△ 1,012
<b>業務純益(B)</b>	<b>13</b>	<b>9,487</b>	<b>11,224</b>	<b>1,737</b>
臨時損益	14	△ 925	△ 1,282	△ 357
うち償却債権取立益	15	145	129	△ 16
うち株式等関係損益	16	1,032	167	△ 865
うち不良債権処理額	17	2,222	1,938	△ 283
<b>経常利益</b>	<b>18</b>	<b>8,562</b>	<b>9,942</b>	<b>1,380</b>
特別損益	19	△ 82	△ 109	△ 27
税引前当期純利益	20	8,479	9,832	1,352
法人税等合計	21	3,883	3,039	△ 844
<b>当期純利益</b>	<b>22</b>	<b>4,596</b>	<b>6,793</b>	<b>2,196</b>

(注) 不良債権処理総額  
【算式】No. (17+5)  
27/3期 1,981百万円  
26/3期 2,222百万円

《用語解説》  
(A) コア業務純益  
【算出】No. (13+12-7+5)  
業務純益から特殊な変動要因を除いた、銀行本来の業務による収益力を表す。

(B) 業務純益  
【算出】No. (2-8-12)  
一般企業の営業利益に相当する利益を表す。



## 2. 主要資産・負債の状況(単体)

### (1) 貸出金

#### ○ 概況(前年度比較)

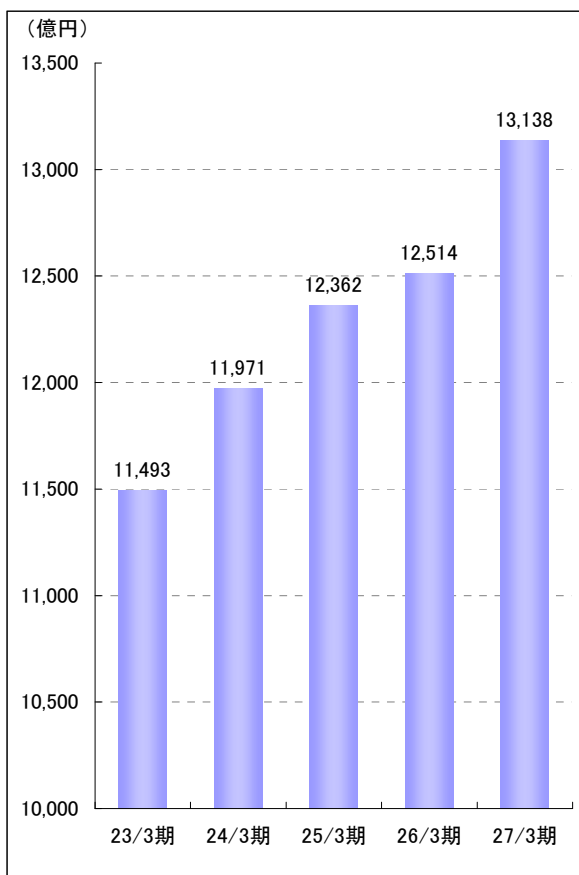
貸出金は、生活密着型ローンの営業強化を図った結果、住宅ローンやアパートローンが好調に増加したほか、SR(ストロングリレーション)活動により取引先との関係強化に努め、事業性貸出も増加したことから、期末残高は銀行・信託勘定合計で前年比624億円増加の1兆,3,138億円となりました。

(単位：億円、%)

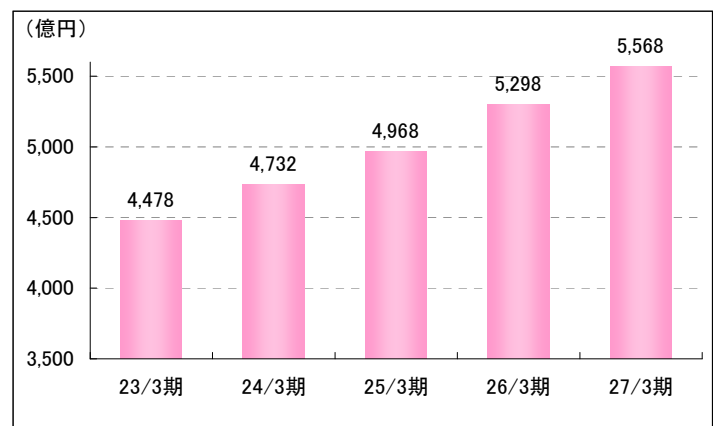
	26/3期	27/3期	
		増減額	増減率
貸出金(期末残高)	12,514	13,138	624 4.99
事業性貸出	6,232	6,570	338 5.42
生活密着型ローン	5,298	5,568	270 5.10
住宅ローン	4,646	4,910	264 5.68
国・地公体向け貸出	983	999	16 1.65
貸出金(平均残高)	12,020	12,549	529 4.40

(注) 信託勘定を含んでおります。

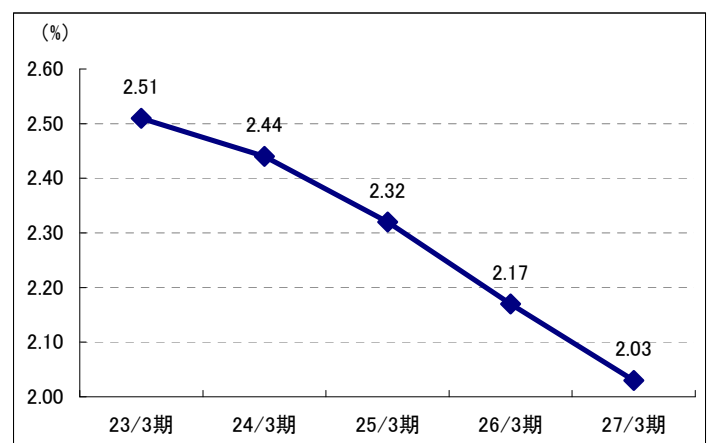
#### 貸出金(期末残高)の推移



#### 生活密着型ローン(期末残高)の推移



#### 貸出金利回りの推移



(※) 利回りには信託勘定を含んでおりません。

## (2) 預金

## ○ 概況(前年度比較)

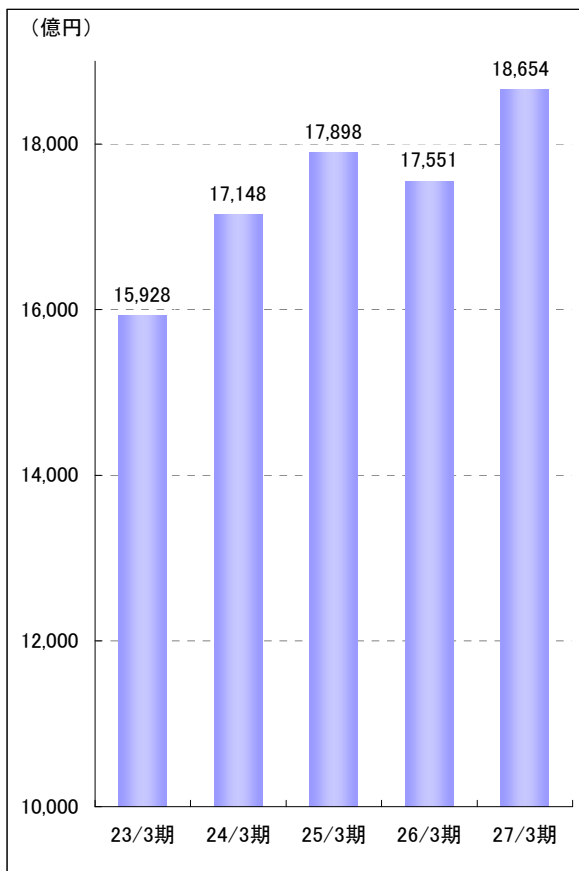
預金は、年金、給与振込等の獲得強化や取引先従業員への営業強化により個人預金が順調に増加したほか、SR(ストロングリレーション)活動による取引先への反復訪問継続や振込口座の当行ご指定により法人預金も順調に増加したことから、期末残高は銀行・信託勘定合計で前年比1,103億円増加の1兆8,654億円となりました。

(単位：億円、%)

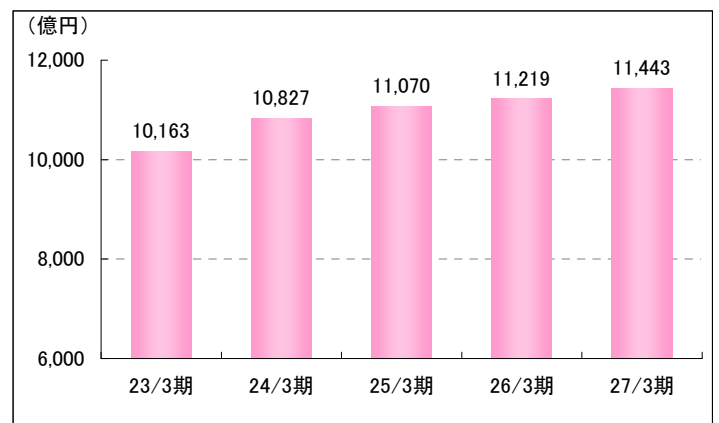
	26/3期	27/3期	
		増減額	増減率
預金(期末残高)	17,551	18,654	1,103 6.28
個人	11,219	11,443	224 1.99
法人	4,967	5,625	657 13.23
金融	185	459	273 147.28
公金	1,178	1,126	△52 △4.41
預金(平均残高)	17,456	18,131	675 3.86

(注) 信託勘定を含んでおります。

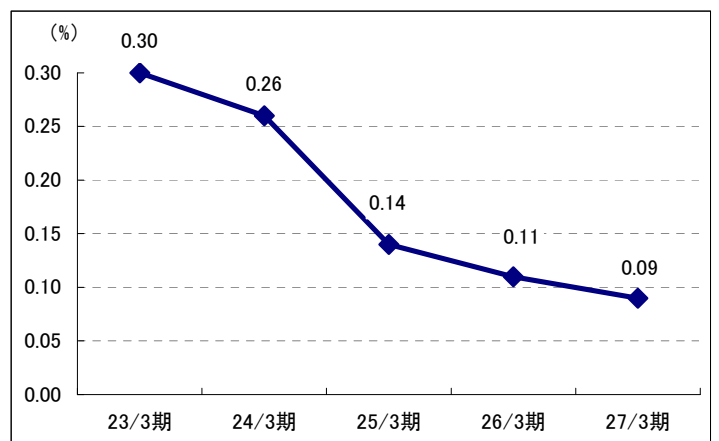
## 預金(期末残高)の推移



## 個人預金(期末残高)の推移



## 預金利回りの推移



(※) 利回りには信託勘定を含んでおりません。

## (3) 有価証券

## ○ 概況(前年度比較)

有価証券は、国債、地方債など公共債を中心に、市場動向を睨みながら資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、期末残高は前年比282億円増加の6,055億円となりました。

また、有価証券全体の評価損益は前年比104億円増加の239億円となりました。

## 【期末残高】

(単位：億円、%)

	26/3期末	27/3期末		
		増減額	増減率	
有価証券	5,773	6,055	282	4.89
債券	5,299	5,088	△ 210	△ 3.97
株式	215	275	59	27.75
その他	257	691	433	167.98

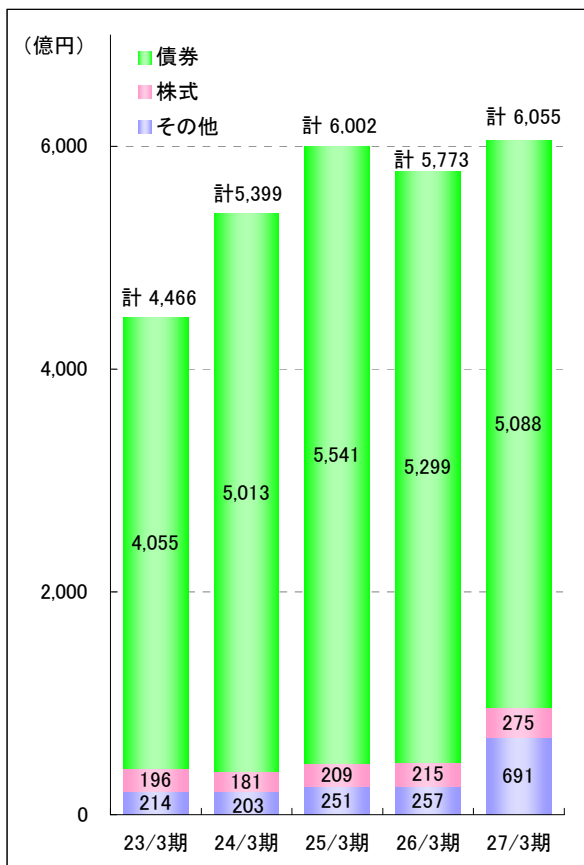
## 【評価損益】

(単位：億円、%)

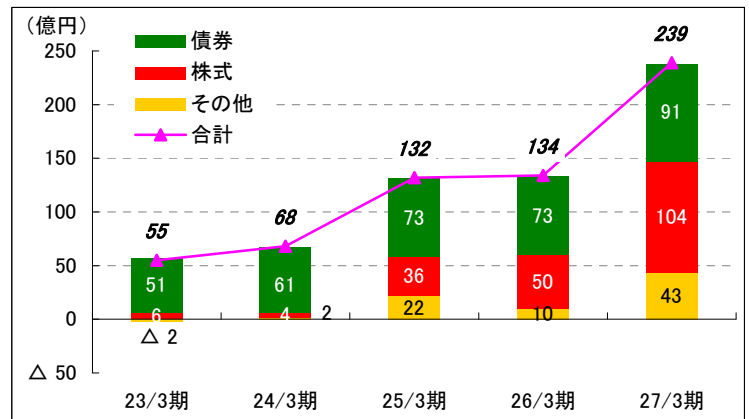
	26/3期末	27/3期末		
		増減額	増減率	
有価証券	134	239	104	78.12
債券	73	91	17	24.09
株式	50	104	54	108.73
その他	10	43	32	308.08

(注)その他には、外国証券、投資信託が含まれております。

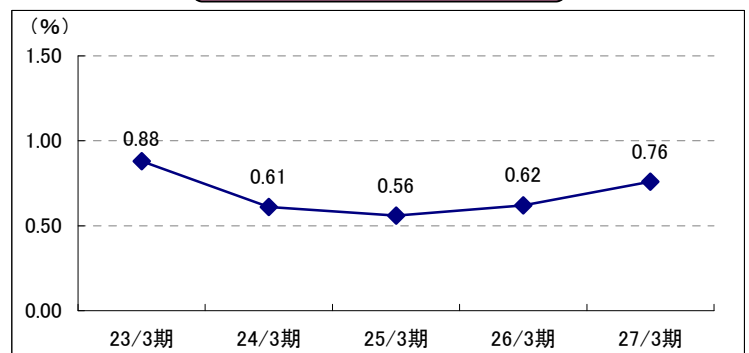
## 有価証券残高の推移



## 評価損益の推移



## 有価証券利回りの推移



## (4) 預かり資産

## ○ 概況 (前年度比較)

量的金融緩和の継続による金利水準低下の影響などから国債は減少したものの、投資信託は新ファンドの導入や各種キャンペーンの実施により増加し、また、個人年金保険等についても取扱商品の追加などにより増加したことから、預かり資産全体では、前年比236億円増加の1,744億円となりました。

## 【期末残高】

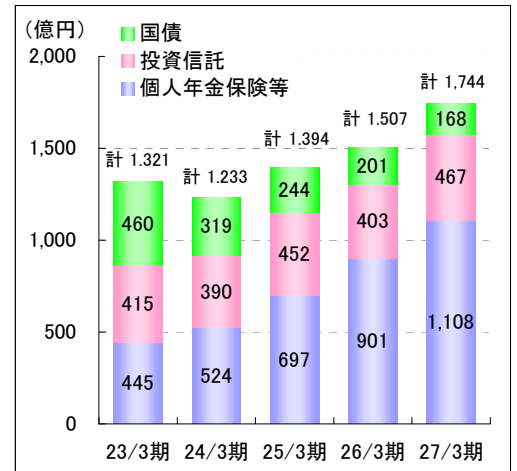
(単位：億円)

	26/3期末	27/3期末	
			増減
預かり資産	1,507	1,744	236
国債	201	168	△ 33
投資信託	403	467	63
個人年金保険等	901	1,108	206

《預かり資産》

お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。

## 預かり資産の推移



## 3. 経費 (単体)

## ○ 概況 (前年度比較)

人件費は、事務行員数の減少に伴う職員給与の減少や時間外勤務手当の減少などにより、前年比7百万円減少の96億34百万円となりました。

物件費は、減価償却費、消耗品費及び事務委託費の減少などにより、前年比3億28百万円減少の89億95百万円となりました。

経費効率を示すコアOHRは、経費の減少やコア業務粗利益の増加により、前年比1.2ポイント低下の64.9%となりました。

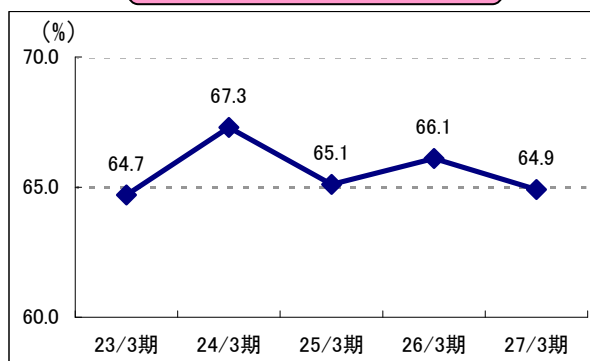
## 【経費の内訳等】

(単位：百万円、%)

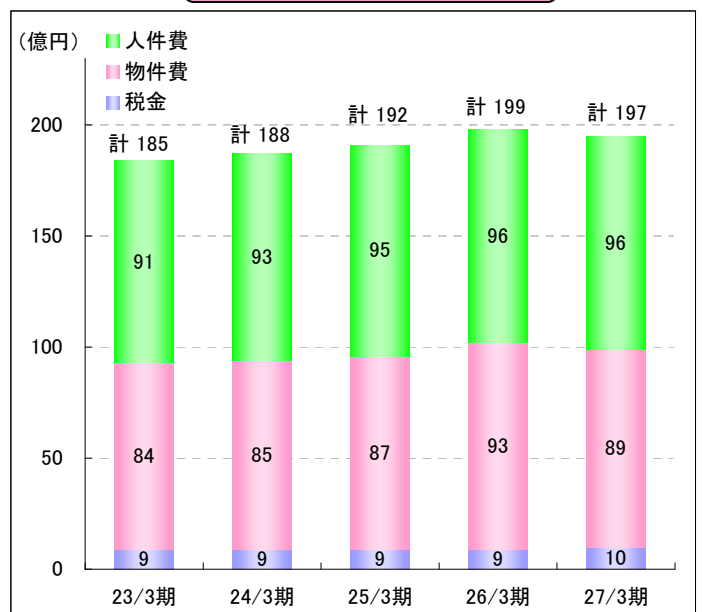
	26/3期	27/3期	
			増減
経費	19,940	19,707	△ 233
人件費	9,642	9,634	△ 7
物件費	9,324	8,995	△ 328
税金	974	1,077	102
コア業務粗利益	30,126	30,360	234
コアOHR	66.1	64.9	△ 1.2

※コアOHR：経費÷コア業務粗利益（コア業務純益＋経費）

## コアOHRの推移



## 経費の推移



#### 4. 資産健全化の状況（単体）

##### (1) 与信費用

##### ○ 概況（前年度比較）

一般貸倒引当金繰入額が貸倒実績率の低下及びDDS引当金の減少により前年比10億12百万円減少の3億72百万円の戻入となったほか、不良債権処理額が信託元本補填引当金繰入額及び貸出金償却の減少により前年比2億40百万円減少の19億81百万円となったことから、与信費用全体では、前年比12億52百万円減少の16億9百万円となりました。

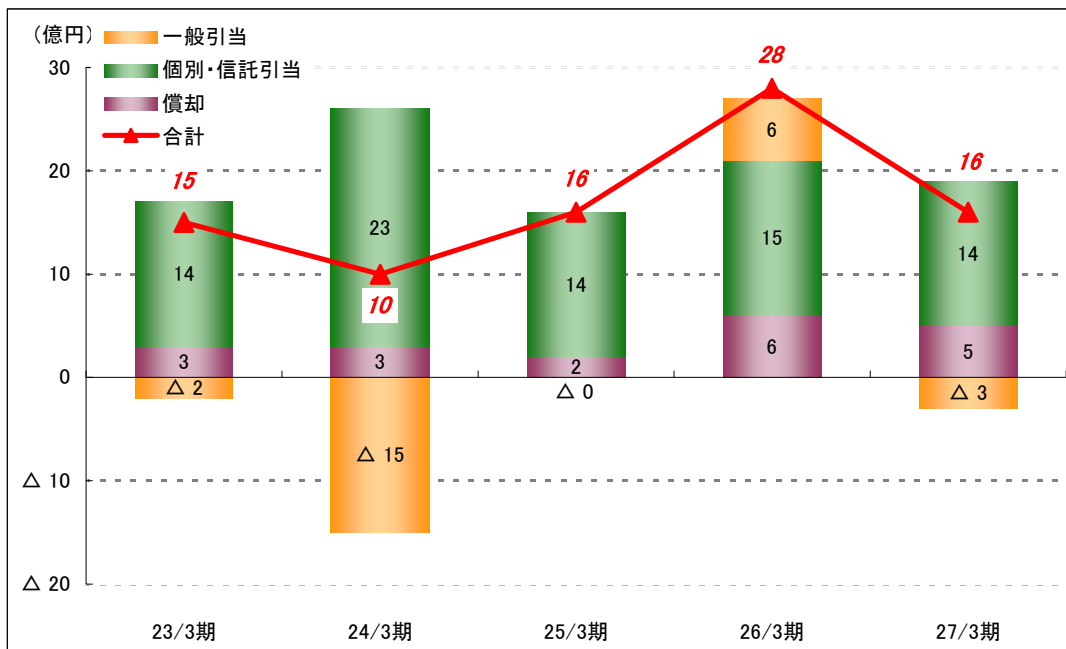
（単位：百万円）

	26/3期	27/3期	
		増減	
与信費用	2,862	1,609	△ 1,252
一般貸倒引当金繰入額	640	△ 372	△ 1,012
不良債権処理額	2,222	1,981	△ 240
個別貸倒引当金繰入額	1,391	1,436	45
信託元本補填引当金繰入額	171	△ 37	△ 208
貸出金償却	659	582	△ 77

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 与信費用とは、貸出金等の債権保全に係る費用（一般貸倒引当金繰入額と不良債権処理額の合計）を指します。

#### 与信費用の推移





## (2) 開示債権

## ○ 概況 (前年度比較)

金融再生法開示債権残高は、前年比3億円の減少の214億円となりました。また、開示債権比率は前年比0.11ポイント低下の1.61%となりました。

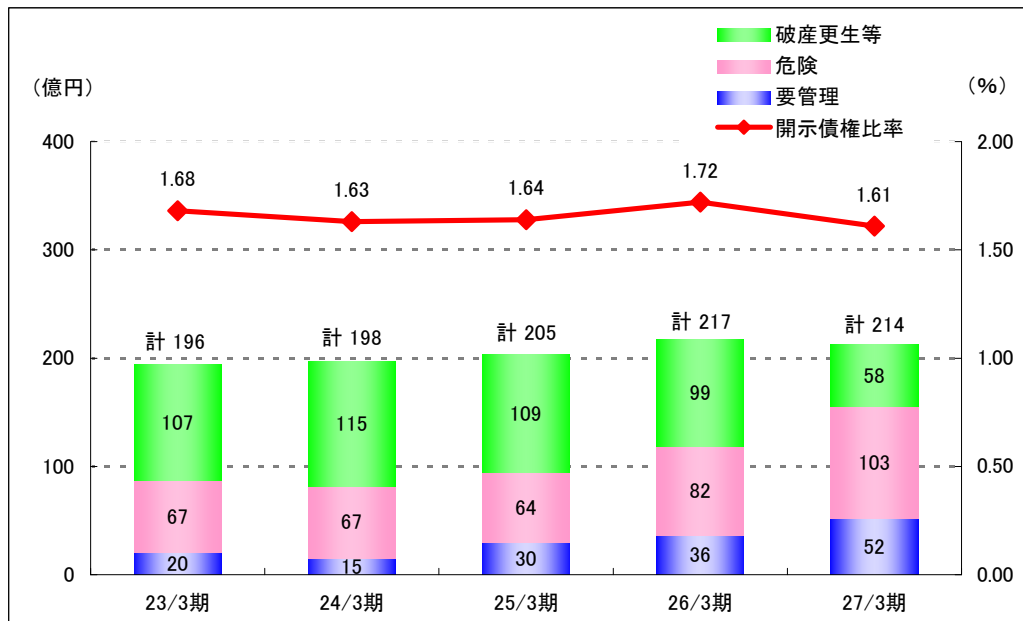
(金融再生法基準)

(単位：億円、%)

	26/3期末	27/3期末		(参考)
			増減	部分直接償却 実施前
開示債権 (a)	217	214	△ 3	252
破産更生等債権	99	58	△ 41	95
危険債権	82	103	21	103
要管理債権	36	52	16	52
正常債権	12,406	13,037	631	13,037
総与信額 (b)	12,624	13,251	627	13,289
開示債権比率 a/b	1.72	1.61	△ 0.11	1.89

(注)信託勘定を含んでおります。

## 開示債権の推移



## 5. 自己資本比率（国内基準）の状況

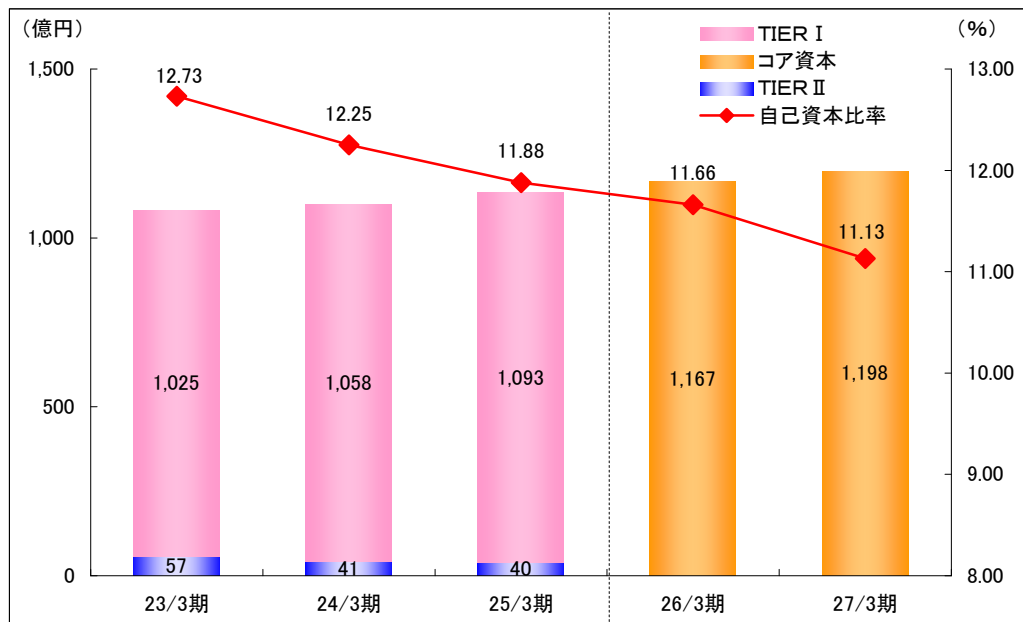
## ○ 概況（前年度比較、単体）

自己資本比率は、貸出金の増加に伴うリスクアセットの増加などにより、前年比0.53ポイント低下の11.13%となりました。

(単位：億円、%)

	単 体			連 結		
	26/3期末	27/3期末	増減	26/3期末	27/3期末	増減
自己(コア)資本額(a)	1,167	1,198	30	1,279	1,314	34
基礎項目	1,167	1,201	33	1,279	1,317	38
調整項目(Δ)	—	3	3	—	3	3
リスクアセット(b)	10,006	10,759	753	10,238	10,969	730
自己資本比率 a/b	11.66	11.13	Δ 0.53	12.49	11.98	Δ 0.51

## 自己資本比率（単体）の推移



旧基準

新基準

## 6. 業績予想

### 【単体通期の損益予想】

#### ○ 経常収益

貸出金利回りの低下により貸出金利息は減少するものの、有価証券利息配当金、役務取引等収益及び有価証券売却益の増加などにより、経常収益は前年比2億円増加の367億円を見込んでおります。

#### ○ 業務純益

経費の増加などにより、業務純益は前年比14億円減少の98億円を見込んでおります。

#### ○ 経常利益

経常収益は増加するものの、経費及び与信費用の増加などにより、経常利益は前年比14億円減少の85億円を見込んでおります。

#### ○ 当期純利益

以上の結果、最終の当期純利益は前年比11億円減少の56億円を見込んでおります。

### 【単体】

(単位：億円)

	27/9期 予想	28/3期予想	
			前期比
経常収益	189	367	2
コア業務純益	44	92	△ 14
業務純益	50	98	△ 14
経常利益	45	85	△ 14
当期(中間)純利益	29	56	△ 11
不良債権処理額	10	20	0

※不良債権処理額は、信託勘定を含んでおります。

### 【連結】

(単位：億円)

	27/9期 予想	28/3期予想	
			前期比
経常収益	255	509	19
経常利益	53	102	△ 12
当期(中間)純利益	30	60	△ 13

### 【開示債権比率(金融再生法基準)】

27/9期末予想		28/3期末予想	
単体	連結	単体	連結
1%台	1%台	1%台	1%台

### 【自己資本比率】

27/9期末予想		28/3期末予想	
単体	連結	単体	連結
11%台	11%台	11%台	11%台

※業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。よって、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## II. 平成27年3月期 決算の概況

## 1. 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
業 務 粗 利 益	30,559	491	30,068
国内業務粗利益	29,917	450	29,466
資金利益	27,267	215	27,052
役務取引等利益	2,337	△199	2,537
うち信託報酬	371	△117	488
信託勘定不良債権処理額①	43	43	-
その他業務利益	312	435	△122
国際業務粗利益	642	40	601
資金利益	536	231	305
役務取引等利益	42	△6	48
その他業務利益	63	△183	247
経 費 (除く臨時処理分)	19,707	△233	19,940
人 件 費	9,634	△7	9,642
物 件 費	8,995	△328	9,324
税 金	1,077	102	974
業 務 純 益 (一般貸引繰入前)	10,852	724	10,127
除く国債等債券関係損益(5勘定戻)	10,610	424	10,186
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 ②	△372	△1,012	640
業 務 純 益	11,224	1,737	9,487
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	242	300	△58
臨 時 損 益	△1,282	△357	△925
うち償却債権取立益	129	△16	145
うち株式等関係損益(3勘定戻)	167	△865	1,032
うち不良債権処理損失③	1,975	△246	2,222
個別貸倒引当金繰入額	1,436	45	1,391
貸 出 金 償 却	539	△120	659
信託元本補填引当金繰入額	-	△171	171
うち信託元本補填引当金戻入額④	37	37	-
経 常 利 益	9,942	1,380	8,562
特 別 損 益	△109	△27	△82
固定資産処分損益	△67	△53	△13
減 損 損 失	0	△68	68
子 会 社 清 算 損	42	42	-
税 引 前 当 期 純 利 益	9,832	1,352	8,479
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	2,153	△1,401	3,555
法 人 税 等 調 整 額	885	557	328
法 人 税 等 合 計	3,039	△844	3,883
当 期 純 利 益	6,793	2,196	4,596
不良債権処理額 (① + ③ - ④)	1,981	△240	2,222
与 信 費 用 (① + ② + ③ - ④)	1,609	△1,252	2,862

## 【連結】

&lt;連結損益計算書ベース&gt;

(単位:百万円)

	27年3月期	26年3月期比	26年3月期
連結業務粗利益	33,368	517	32,850
資金利益	28,549	459	28,090
信託報酬	371	△117	488
役務取引等利益	2,483	△142	2,626
その他業務利益	1,963	318	1,645
営業経費	20,720	△95	20,815
貸倒償却引当費用	1,991	△1,020	3,012
一般貸倒引当金繰入額	△384	△980	595
個別貸倒引当金繰入額	1,482	308	1,173
信託元本補填引当金繰入額	-	△171	171
貸出金償却	723	△283	1,007
債権売却損	170	106	64
株式等関係損益	198	△833	1,032
その他	565	232	333
経常利益	11,420	1,032	10,387
特別損益	△111	△29	△81
固定資産処分損益	△68	△50	△18
減損損失	0	△63	63
子会社清算損	42	42	-
税金等調整前当期純利益	11,309	1,003	10,305
法人税、住民税及び事業税	2,671	△1,415	4,087
法人税等調整額	960	483	476
法人税等合計	3,631	△932	4,564
少数株主損益調整前当期純利益	7,677	1,935	5,741
少数株主利益	359	△97	457
当期純利益	7,317	2,033	5,284

(注) 連結業務粗利益=資金利益+金銭の信託運用見合費用[金銭の信託に係る資金調達費用]+信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	13,067	1,598	11,469
--------	--------	-------	--------

(注) 連結業務粗利益-営業経費(除く臨時処理分)-一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	7	0	7
持分法適用会社数	0	0	0

## 2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	27年3月期	26年3月期	
		26年3月期比	26年3月期
業務純益(一般貸引繰入前)	10,852	724	10,127
職員一人当たり(千円)	9,910	712	9,198
業務純益	11,224	1,737	9,487
職員一人当たり(千円)	10,250	1,633	8,616

(注) 職員数は期中平均人員(出向者除く)を使用しております。

## 3. 利鞘【単体】

## (1) 総合

(単位:%)

	27年3月期	26年3月期	
		26年3月期比	26年3月期
資金運用利回(A)	1.62	△0.01	1.63
貸出金利回	2.03	△0.14	2.17
有価証券利回	0.76	0.14	0.62
資金調達原価(B)	1.20	△0.07	1.27
預金等利回	0.09	△0.02	0.11
外部負債利回	0.11	0.01	0.10
総資金利鞘(A)-(B)	0.42	0.06	0.36

(注) 「外部負債」=コールマネー+売渡手形+借入金

## (2) 国内部門

(単位:%)

	27年3月期	26年3月期	
		26年3月期比	26年3月期
資金運用利回(A)	1.61	△0.03	1.64
貸出金利回	2.03	△0.14	2.17
有価証券利回	0.70	0.11	0.59
資金調達原価(B)	1.16	△0.07	1.23
預金等利回	0.09	△0.02	0.11
外部負債利回	0.11	0.01	0.10
総資金利鞘(A)-(B)	0.45	0.04	0.41

(注) 「外部負債」=コールマネー+売渡手形+借入金

## 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	27年3月期	26年3月期	
		26年3月期比	26年3月期
国債等債券関係損益(5勘定戻)	242	300	△ 58
売却益	429	△ 63	493
償還益	-	-	-
売却損	187	△ 364	552
償還損	-	-	-
償却	-	-	-

	27年3月期	26年3月期	
		26年3月期比	26年3月期
株式等関係損益(3勘定戻)	167	△ 865	1,032
売却益	258	△ 815	1,074
売却損	90	60	30
償却	1	△ 11	12

## 5. 自己資本比率

## (1) 自己資本比率(国内基準)【単体】

(単位:百万円,%)

	27年3月末	26年3月末		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末		
①自己資本比率	11.13	△ 0.53	△ 0.33	11.66	11.46
②コア資本に係る基礎項目	120,160	3,391	1,132	116,768	119,028
うち土地の再評価差額の45%	1,061	△ 118	△ 117	1,179	1,179
うち一般貸倒引当金	3,176	△ 372	△ 734	3,549	3,911
うち負債性資本調達手段等	-	-	-	-	-
③コア資本に係る調整項目	307	307	307	-	-
④自己資本 ②-③	119,852	3,084	824	116,768	119,028
⑤リスクアセット	1,075,982	75,314	37,629	1,000,667	1,038,352

## (2) 自己資本比率(国内基準)【連結】

(単位:百万円,%)

	27年3月末	26年3月末		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末		
①自己資本比率	11.98	△ 0.51	△ 0.35	12.49	12.33
②コア資本に係る基礎項目	131,765	3,823	1,123	127,942	130,642
うち土地の再評価差額の45%	1,061	△ 118	△ 117	1,179	1,179
うち一般貸倒引当金	4,179	△ 384	△ 890	4,564	5,070
うち負債性資本調達手段等	-	-	-	-	-
③コア資本に係る調整項目	346	346	346	-	-
④自己資本 ②-③	131,418	3,476	776	127,942	130,642
⑤リスクアセット	1,096,952	73,055	38,134	1,023,896	1,058,818

## 6. ROE【単体】

(単位:%)

	27年3月期	26年3月期比	
		26年3月期	26年3月期
業務純益ベース	8.76	0.94	7.82
コア業務純益ベース	8.31	△ 0.09	8.40
当期純利益ベース	5.30	1.51	3.79

(算式)

$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首純資産の部合計} + \text{期末純資産の部合計}) \div 2} \times 100$$

※ コア業務純益＝業務純益－債券5勘定戻＋一般貸倒引当金繰入額＋信託勘定償却額等

※ 純資産の部合計は、新株予約権を除いております。

(参考)

## ROE (株主資本ベース)【単体】

(単位:%)

	27年3月期	26年3月期比	
		26年3月期	26年3月期
業務純益ベース	9.82	1.29	8.53
コア業務純益ベース	9.32	0.16	9.16
当期純利益ベース	5.94	1.81	4.13

(算式)

$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首株主資本合計} + \text{期末株主資本合計}) \div 2} \times 100$$



## Ⅲ. 貸出金等の状況

## 1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施（前・**後**）  
未収利息不計上基準（自己査定基準）

## 【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	642	△ 1,193	△ 427	1,835	1,069
延滞債権額	15,446	△ 771	647	16,218	14,799
3ヶ月以上延滞債権額	194	△ 110	△ 183	305	377
貸出条件緩和債権額	5,060	1,750	748	3,309	4,312
合計	21,343	△ 325	784	21,669	20,558

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

貸出金残高(末残)	1,313,887	62,469	34,996	1,251,418	1,278,891
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比					
破綻先債権	0.04	△ 0.10	△ 0.04	0.14	0.08
延滞債権	1.17	△ 0.12	0.02	1.29	1.15
3ヶ月以上延滞債権	0.01	△ 0.01	△ 0.01	0.02	0.02
貸出条件緩和債権	0.38	0.12	0.05	0.26	0.33
合計	1.62	△ 0.11	0.02	1.73	1.60

(注)信託勘定を含んでおります。

## 【連結】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	679	△ 1,217	△ 417	1,897	1,097
延滞債権額	15,874	△ 891	519	16,765	15,354
3ヶ月以上延滞債権額	194	△ 110	△ 183	305	377
貸出条件緩和債権額	5,060	1,750	748	3,309	4,312
合計	21,808	△ 469	666	22,277	21,141

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

貸出金残高(末残)	1,302,260	60,862	34,052	1,241,397	1,268,207
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比					
破綻先債権	0.05	△ 0.10	△ 0.03	0.15	0.08
延滞債権	1.21	△ 0.14	0.00	1.35	1.21
3ヶ月以上延滞債権	0.01	△ 0.01	△ 0.01	0.02	0.02
貸出条件緩和債権	0.38	0.12	0.04	0.26	0.34
合計	1.67	△ 0.12	0.01	1.79	1.66

(注)信託勘定を含んでおります。

## 2. 貸倒引当金の状況

## 【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
貸倒引当金	7,627	△ 2,372	△ 845	9,999	8,472
一般貸倒引当金	3,176	△ 372	△ 734	3,549	3,911
個別貸倒引当金	4,450	△ 2,000	△ 110	6,450	4,560

信託元本補填引当金	218	△ 37	2	255	216
-----------	-----	------	---	-----	-----

## 【連結】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
貸倒引当金	10,561	△ 2,434	△ 1,093	12,995	11,655
一般貸倒引当金	4,179	△ 384	△ 890	4,564	5,070
個別貸倒引当金	6,381	△ 2,049	△ 203	8,431	6,585

信託元本補填引当金	218	△ 37	2	255	216
-----------	-----	------	---	-----	-----

## 3. リスク管理債権に対する保全状況

## 【単体】

(単位:百万円,%)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
リスク管理債権額 (A)	21,343	△ 325	784	21,669	20,558
保全額	18,850	△ 1,125	△ 120	19,975	18,970
貸倒引当金 (B)	4,814	△ 2,080	△ 291	6,894	5,106
担保・保証等 (C)	14,035	954	171	13,080	13,864
保全率 (B+C)/(A)	88.31	△ 3.87	△ 3.96	92.18	92.27
貸倒引当金 (B/A)	22.55	△ 9.26	△ 2.28	31.81	24.83
担保・保証等 (C/A)	65.76	5.40	△ 1.67	60.36	67.43

(注)信託勘定を含んでおります。

## 【連結】

(単位:百万円,%)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
リスク管理債権額 (A)	21,808	△ 469	666	22,277	21,141
保全額	19,300	△ 1,269	△ 236	20,570	19,536
貸倒引当金 (B)	5,076	△ 2,160	△ 368	7,237	5,445
担保・保証等 (C)	14,223	890	132	13,333	14,091
保全率 (B+C)/(A)	88.50	△ 3.83	△ 3.91	92.33	92.41
貸倒引当金 (B/A)	23.27	△ 9.21	△ 2.48	32.48	25.75
担保・保証等 (C/A)	65.22	5.38	△ 1.43	59.84	66.65

(注)信託勘定を含んでおります。

## 4. 金融再生法開示債権

部分直接償却の実施 (有)・無)

## 【単体】

(単位:百万円,%)

	27年3月末	26年3月末比		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,822	△ 4,117	△ 1,289	9,939	7,111
危険債権	10,369	2,126	1,503	8,242	8,866
要管理債権	5,254	1,639	564	3,614	4,689
合計 (A)	21,446	△ 350	778	21,797	20,667
正常債権	1,303,746	63,126	34,308	1,240,619	1,269,437
総与信残高 (B)	1,325,192	62,775	35,087	1,262,416	1,290,105
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.61	△ 0.11	0.01	1.72	1.60
部分直接償却額	3,760	553	△ 604	3,207	4,365

(注)信託勘定を含んでおります。

## 【連結】

(単位:百万円,%)

	27年3月末	26年3月末比		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,258	△ 4,262	△ 1,403	10,520	7,662
危険債権	10,398	2,127	1,499	8,270	8,898
要管理債権	5,254	1,639	564	3,614	4,689
合計 (A)	21,911	△ 494	661	22,405	21,250
正常債権	1,291,666	61,661	33,481	1,230,005	1,258,185
総与信残高 (B)	1,313,578	61,166	34,142	1,252,411	1,279,435
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.66	△ 0.12	0.00	1.78	1.66
部分直接償却額	4,449	349	△ 734	4,099	5,184

(注)信託勘定を含んでおります。

## 5. 金融再生法開示債権の保全状況

## 【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年3月末比		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
保全額 (C)	18,938	△ 1,140	△ 125	20,079	19,064
貸倒引当金	4,890	△ 2,093	△ 301	6,984	5,192
担保・保証等	14,048	953	176	13,095	13,872

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C)/(A)	88.30	△ 3.82	△ 3.94	92.12	92.24
-------------	-------	--------	--------	-------	-------

## 【連結】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年3月末比		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
保全額 (C)	19,389	△ 1,285	△ 241	20,674	19,630
貸倒引当金	5,152	△ 2,174	△ 378	7,327	5,531
担保・保証等	14,236	889	137	13,347	14,099

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C)/(A)	88.49	△ 3.78	△ 3.88	92.27	92.37
-------------	-------	--------	--------	-------	-------

## 6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分による引当率、保全率の状況

## ・金融再生法区分による引当率・保全率の状況 【単体】

(単位:百万円,%)

	27年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総与信額 (A)	5,822	10,369	5,254	21,446
担保等の保全額 (B)	4,152	6,798	3,096	14,048
未保全額 (C)=(A)-(B)	1,669	3,570	2,157	7,398
引当額 (D)	1,669	2,961	259	4,890
引当率 (D)/(C)	100.00	82.93	12.03	66.10
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	94.12	63.87	88.30

(注)信託勘定を含んでおります。

## ・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況 【単体】

(単位:百万円,%)

	27年3月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合 計
総与信額 (A)	652	5,169	10,369	16,191
担保等の保全額 (B)	566	3,586	6,798	10,951
未保全額 (C)=(A)-(B)	85	1,583	3,570	5,240
引当額 (D)	85	1,583	2,961	4,630
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	82.93	88.37
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	94.12	96.23

(注)信託勘定を含んでおります。

## ・金融再生法区分による引当率・保全率の状況 【連結】

(単位:百万円,%)

	27年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総与信額 (A)	6,258	10,398	5,254	21,911
担保等の保全額 (B)	4,341	6,798	3,096	14,236
未保全額 (C)=(A)-(B)	1,917	3,599	2,157	7,674
引当額 (D)	1,917	2,975	259	5,152
引当率 (D)/(C)	100.00	82.66	12.03	67.13
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	94.00	63.87	88.49

(注)信託勘定を含んでおります。

## ・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【連結】

(単位:百万円,%)

	27年3月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合計
総与信額 (A)	689	5,568	10,398	16,656
担保等の保全額 (B)	601	3,739	6,798	11,140
未保全額 (C)=(A)-(B)	88	1,829	3,599	5,516
引当額 (D)	88	1,829	2,975	4,893
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	82.66	88.69
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	94.00	96.25

(注)信託勘定を含んでおります。

## 7. 自己査定結果及び債権分類額(率)の状況【単体】

(単位:百万円,%)

	27年3月末		26年3月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	1,325,192	100.00	1,262,416	100.00
非分類額	1,191,417	89.90	1,129,663	89.48
分類額合計	133,775	10.09	132,752	10.51
Ⅱ分類	133,249	10.05	132,256	10.47
Ⅲ分類	525	0.03	496	0.03
Ⅳ分類	-	-	-	-

(注) 総与信残高・・・貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高であります。

非分類・・・Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類・・・回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類・・・最終の回収又は価値について重大な懸念が存在し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類・・・回収不能又は無価値と判定される資産。

自己査定区分	償却・引当基準
破綻先債権	担保・保証等で保全されていない債権額の100%を個別貸倒引当金として計上するか、又は直接償却する。
実質破綻先債権	
破綻懸念先債権	貸倒実績率に基づく予想損失率を乗じて算定した予想損失額に相当する額を個別貸倒引当金として計上する。
要管理先債権	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を一般貸倒引当金として計上する。
その他要注意先債権	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を一般貸倒引当金として計上する。
正常先債権	

但し、DCF先、DDS先については、以下の償却・引当基準を採用する。

DCF先	対象先の将来キャッシュ・フローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を一般貸倒引当金として計上する。
DDS先	当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに予想損失率を用いて計上する。又は、資本的劣後ローンの回収可能見込額をゼロと算定し、取得原価又は償却原価と同額を貸倒見込額として計上する。

## 8. 自己査定結果と開示債権との関係 【単体】

(単位:百万円)

自己査定結果 (債務者区分) 対 象 : 総 与 信					金融再生法 開示債権 対 象 : 総 与 信	リスク 管理債権 対 象 : 貸 出 金	引当金	保全率 (引当率)
債務者区分 (償却後)	分 類							
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破 綻 先 652	引当・担保・保証 等による保全部分 98	553	全額 引当	償却 引当	破産更生債権 及びこれらに 進ずる債権 5,822  保全率 : 100.00%	破綻先債権 642	85	100.00%
実質破綻先 5,169	引当・担保・保証 等による保全部分 2,500	2,669						
破綻懸念先 10,369	引当・担保・保証 等による保全部分 6,348	3,494	必要額 を引当 525		危険債権 10,369  保全率 : 94.12%		2,961	94.12% (82.93%)
要 注 意 先	要管理先 6,359	担保 : 4,078 信用 : 2,280 923	貸倒実績率に基 づく3年間の予 想損失額を引 当。資本的劣後 ローン(DDS) は全額引当。		要管理債権 5,254  保全率 : 63.87%	3ヶ月以上 延滞債権 194	317	69.12% (13.91%)
	要管理先 以外の 要注意先 149,968	28,873		121,095	小計 21,446  全体の保全率 88.30%	貸出条件 緩和債権 5,060		
正 常 先 1,152,672	1,152,672		貸倒実績率に 基づく1年間 の予想損失額 を引当。		正常債権 1,303,746		147	
合 計 1,325,192	1,191,417	133,249	525	—	1,325,192	1,313,887	7,815	88.59% (65.79%)

(注)信託勘定を含んでおります。

## 9. 業種別貸出状況等 【単体】

## (1) 業種別貸出金 【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末			26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,313,887	62,469	34,996	1,251,418	1,278,891
製 造 業	37,038	357	1,984	36,680	35,053
農 業 , 林 業	816	223	43	592	773
漁 業	500	△ 34	△ 0	535	501
鉱業,採石業,砂利採取業	1,758	△ 220	659	1,978	1,098
建 設 業	42,091	△ 2,648	△ 170	44,740	42,261
電気・ガス・熱供給・水道業	6,893	3,357	571	3,535	6,321
情 報 通 信 業	8,912	1,674	277	7,237	8,634
運 輸 業 , 郵 便 業	16,605	1,777	619	14,828	15,986
卸 売 業 , 小 売 業	107,107	△ 7,785	△ 2,180	114,893	109,288
金 融 業 , 保 険 業	26,323	1,301	△ 557	25,021	26,880
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	326,372	31,515	14,334	294,856	312,038
各 種 サ ー ビ ス 業	142,992	13,442	9,136	129,550	133,856
地 方 公 共 団 体	99,983	1,627	2,053	98,356	97,930
そ の 他	496,492	17,881	8,226	478,610	488,266

(注) 信託勘定を含んでおります。

## (2) 業種別リスク管理債権 【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末			26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	21,343	△ 325	784	21,669	20,558
製 造 業	2,066	852	549	1,214	1,517
農 業 , 林 業	4	1	2	3	2
漁 業	474	△ 31	△ 0	506	475
鉱業,採石業,砂利採取業	83	△ 14	△ 9	98	93
建 設 業	1,254	△ 553	293	1,807	961
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-
情 報 通 信 業	559	△ 101	△ 41	661	601
運 輸 業 , 郵 便 業	549	238	291	310	257
卸 売 業 , 小 売 業	2,548	△ 1,925	87	4,474	2,461
金 融 業 , 保 険 業	5	△ 3	△ 0	9	6
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	3,427	88	△ 308	3,338	3,735
各 種 サ ー ビ ス 業	4,845	945	71	3,899	4,774
地 方 公 共 団 体	-	-	-	-	-
そ の 他	5,523	178	△ 148	5,344	5,671

(注) 信託勘定を含んでおります。

## (3) 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高、不良債権残高

(単位:百万円)

		リスク管理債権ベース				
		総貸出残高	3ヶ月以上延滞先	貸出条件緩和先	延滞先	破綻先
卸売・小売業	26年3月末	114,893	9	86	4,274	104
	26年9月末	109,288	4	623	1,832	1
	27年3月末	107,107	3	646	1,899	-
建設業	26年3月末	44,740	-	116	1,141	549
	26年9月末	42,261	1	39	816	103
	27年3月末	42,091	3	65	1,143	42
不動産業	26年3月末	271,659	-	362	2,646	248
	26年9月末	288,470	5	350	3,064	238
	27年3月末	300,370	19	402	2,926	7
その他金融	26年3月末	8,911	-	-	-	-
	26年9月末	10,917	-	-	-	-
	27年3月末	10,872	-	-	-	-

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

		金融再生法開示債権ベース			
		総与信残高	要管理債権	危険債権	破産更生等債権
卸売・小売業	26年3月末	118,433	95	2,243	2,153
	26年9月末	112,948	627	1,519	323
	27年3月末	110,923	649	1,472	435
建設業	26年3月末	45,571	116	875	819
	26年9月末	43,526	41	584	335
	27年3月末	43,510	68	833	351
不動産業	26年3月末	273,475	362	1,261	1,729
	26年9月末	290,024	356	1,561	1,833
	27年3月末	301,871	421	1,687	1,333
その他金融	26年3月末	8,915	-	-	-
	26年9月末	10,922	-	-	-
	27年3月末	10,878	-	-	-

(注) 信託勘定を含んでおります。



## (4) 生活密着型ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
生活密着型ローン残高	555,979 (556,864)	27,154 (27,028)	14,206 (14,159)	528,825 (529,835)	541,773 (542,704)
うち住宅ローン残高	490,716 (491,066)	26,603 (26,433)	13,475 (13,353)	464,112 (464,633)	477,240 (477,713)
うちその他ローン残高	65,263 (65,797)	551 (595)	730 (805)	64,712 (65,202)	64,532 (64,991)

(注) ( ) 書きは信託勘定を含んでおります。

## (5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率【単体】

(単位:百万円,%)

	27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
		3月末比	9月末比		
中小企業等貸出残高	1,132,218 (1,135,329)	63,224 (62,388)	36,569 (36,173)	1,068,993 (1,072,940)	1,095,648 (1,099,155)
中小企業等貸出比率	86.37 (86.40)	0.68 (0.67)	0.47 (0.46)	85.69 (85.73)	85.90 (85.94)

(注) ( ) 書きは信託勘定を含んでおります。

## 10. 信用保証協会保証付融資【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年3月末	26年9月末
信用保証協会保証付の融資残高	56,727	59,198	66,043
うち特別保証枠分	15	18	21

## 11. 系列ノンバンク向け融資残高【単体】

(単位:百万円)

	27年3月末	26年3月末	26年9月末
	13,786	12,603	13,111

## 12. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

		27年3月末	26年		26年3月末	26年9月末
			3月末比	9月末比		
預金	(末残)	1,804,634 (1,865,497)	117,036 (110,347)	11,850 (11,189)	1,687,598 (1,755,149)	1,792,784 (1,854,308)
	(平残)	1,750,997 (1,813,188)	77,357 (67,503)	8,523 (6,780)	1,673,640 (1,745,685)	1,742,473 (1,806,407)
貸出金	(末残)	1,310,776 (1,313,887)	63,322 (62,469)	35,403 (34,996)	1,247,454 (1,251,418)	1,275,373 (1,278,891)
	(平残)	1,251,467 (1,254,995)	54,068 (52,971)	15,192 (15,022)	1,197,398 (1,202,024)	1,236,274 (1,239,972)

(注) ( ) 書きは信託勘定を含んでおります。

## 13. 個人、法人預金の種類別内訳 (平残) 【単体】

(単位:百万円)

種類	27年3月末	26年3月末比		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
個人預金	1,141,371	17,139	5,310	1,124,231	1,136,061
流動性預金	577,856	36,479	11,385	541,377	566,470
定期性預金	563,515	△ 19,339	△ 6,075	582,854	569,590
法人預金	527,138	47,566	8,145	479,571	518,993
流動性預金	285,081	25,304	2,916	259,777	282,165
定期性預金	242,056	22,262	5,228	219,794	236,827

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 法人預金には、公金預金及び金融機関預金は含んでおりません。

## IV. 業績予想等

## 1. 平成28年3月期通期の業績予想 【単体】

(単位:百万円)

	28年3月期予想	27年3月期実績
経常収益	36,700	36,442
経常利益	8,500	9,942
当期純利益	5,600	6,793
業務純益	9,800	11,224
業務純益(一般貸引繰入前)	9,800	10,852
除く国債等債券関係損益	9,200	10,610
不良債権処理額	2,000	1,981

(注) 不良債権処理額には、信託勘定を含んでおります。

## ○ 業務純益について 【単体】

(単位:百万円)

	一般貸引繰入前		一般貸引繰入後	信託勘定償却前業務純益		
	除く債券損益	一般貸引繰入後		一般貸引繰入前		一般貸引繰入後
				除く債券損益	一般貸引繰入後	
26年3月期	10,127	10,186	9,487	10,127	10,186	9,487
27年3月期	10,852	10,610	11,224	10,895	10,653	11,267
26年9月期	4,899	4,654	4,537	4,943	4,698	4,580
28年3月期予想	9,800	9,200	9,800	9,800	9,200	9,800
27年9月期予想	5,000	4,400	5,000	5,000	4,400	5,000

## 2. 人員と店舗の状況 【単体】

## (1) 人員

(単位:人)

	27年3月末	26年3月末比		26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
在籍行員数	1,091	△ 9	△ 31	1,100	1,122

## (2) 店舗

(単位:店舗)

	27年3月末			26年3月末	26年9月末
		26年3月末比	26年9月末比		
店舗数	65 (4)	0 (0)	0 (0)	65 (4)	65 (4)

(注)店舗数には出張所も含めております。( )は出張所数です。

## 3. 保有株式について【単体】

## (1) 保有株式

(単位:百万円)

	取得原価ベース	時価ベース	Tier I
26年3月末	16,573	21,591	-
26年9月末	16,459	23,071	-
27年3月末	17,111	27,585	-

## (2) 減損処理について

(単位:百万円)

	株式等関係損益	
		うち減損処理額
26年3月期	1,032	1
27年3月期	167	0

## 4. 不良債権について【単体】

## (1) 処理損失

(単位:百万円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額 (銀行勘定)	③不良債権処理額 (信託勘定)	総与信費用 ①+②+③
26年3月期	640	2,222	-	2,862
27年3月期	△ 372	1,938	43	1,609
26年9月期	362	908	43	1,314

(注)②不良債権処理額(銀行勘定) = 個別貸倒引当金繰入額、貸出金償却、債権売却損などの合計

## (2) 残高

(単位:百万円)

	自己査定				計 ①+②+③
	破綻・実質破綻先 ①	破綻懸念先 ②	破綻懸念先以下 ①+②	要注意先 ③	
26年3月末	9,939	8,242	18,182	161,319	179,501
26年9月末	7,111	8,866	15,978	162,560	178,539
27年3月末	5,822	10,369	16,191	156,328	172,520

	金融再生法基準	
	要管理債権 ④	計 ①+②+④
26年3月末	3,614	21,797
26年9月末	4,689	20,667
27年3月末	5,254	21,446

(注)信託勘定を含んでおります。

## (3) 最終処理と新規発生

## a. 残高について

(単位:百万円)

	破産更生等債権	危険債権	合計
26年3月末	9,939	8,242	18,182
26年9月末	7,111	8,866	15,978
27年3月末	5,822	10,369	16,191
26/3→27/3新規増加	1,226	5,996	7,223
26/3→27/3オフバランス化	5,523	3,690	9,213
26/3→27/3増減	△ 4,117	2,126	△ 1,990
26/9→27/3新規増加	473	3,487	3,961
26/9→27/3オフバランス化	2,343	1,404	3,747
26/9→27/3増減	△ 1,289	1,503	213

(注)信託勘定を含んでおります。

## b. オフバランス化の内訳

(単位:百万円)

	27年3月期実績	26年9月期実績	26年3月期実績
清算型処理	-	-	-
再建型処理	-	-	-
再建型処理に伴う業況改善	-	-	-
債権流動化	-	-	111
R C C 向け売却	-	-	-
直接償却	4,018	2,881	1,313
その他	5,194	3,533	4,481
回収・返済	3,864	2,792	3,298
業況改善	1,330	741	1,183
合計	9,213	6,414	5,905

## (4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

		27年3月末		26年9月末		26年3月末	
実質破綻・破綻先債権	無担保部分の	100.00%	16億円	100.00%	25億円	100.00%	46億円
破綻懸念先債権	無担保部分の	82.93%	29億円	83.35%	21億円	78.55%	20億円
要管理先債権	債権額の	4.98%	3億円	9.46%	5億円	8.41%	3億円
その他要注意先債権	債権額の	1.81%	27億円	2.09%	32億円	1.93%	30億円
正常先債権	債権額の	0.01%	1億円	0.00%	0億円	0.01%	1億円

(注)平成27年3月末の資本的劣後ローン(DDS)への転換先については、その他要注意先のうち16億円、破綻懸念先のうち1億円を引当処理しております。

## (5) 不良債権比率(金融再生法基準)

(単位:%)

	25年3月末	25年9月末	26年3月末	26年9月末	27年3月末
単体ベース	1.64	1.78	1.72	1.60	1.61
連結ベース	1.72	1.85	1.78	1.66	1.66